

インターバンクの声（2015 年 8 月 24 日）

中国人民元の切り下げと上海株の大幅下落の影響もようやく収まりかけていたように見えていたが、過去にもしばしば起こる反応なのだが、アジア時間ではそれほどネガティブに受け取られなかった中国 8 月の製造業 PMI 速報値の低水準結果に欧米市場センチメントが一気に悪化した。アジア時間の為替市場が極端にリスク回避に転じた訳ではなかったが、ただ株式市場では日経平均が 600 円近くも下げ、上海株も 150 ポイント以上、他のアジア株も軒並み大幅下落していた。ロンドン市場でも FT 100 を筆頭に独仏の株価も大幅に値下がりした。ニューヨーク市場でもダウ、S&P 500、ナスダックの 3 指数が大幅に下落、世界経済への見通しがより不透明になったとして、市場の不安感は簡単には収まらないような様相になっている。つい数日前までは米連邦準備制度理事会（FRB）の 9 月利上げの可能性も充分に残っていたが、週末の市場の混乱で早期利上げ観測は吹き飛んでしまったようだ。今週の前半に市場の混乱が直ぐに収まるとは考えにくく、週後半の米 GDP 改定値や来週の雇用統計の結果によっては、市場センチメントが更に悪化するリスクにも備えるべきかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。